

就実教育実践研究センターと子育て支援4 -大学附属機関による地域子育て支援事業モデル-

佐藤和順 (初等教育学科), 北川歳昭 (教育心理学科), 柏まり (初等教育学科)

A child-rearing Support Model by Shujitsu Center for Educational Research and Training IV

Kazuyuki SATO (Department of Elementary Education), Toshiaki KITAGAWA (Department of Educational Psychology) and Mari KASHIWA (Department of Elementary Education)

抄 録

就実大学・就実短期大学の附属機関である就実教育実践研究センターが主体となって運営している就実子育てアカデミー事業の現状と課題について報告する。事業の中心は、協働的な実行委員会組織の形成、ひろば型事業である親子ふれあいタイムの実施、情報発信型子育て支援である「ふれあい通信」の発行等の実施である。本稿では、平成23年度の事業の概要を報告したうえで、本年度に新たに着手した地域子育て支援拠点スタッフ研修についても言及する。

キーワード：地域貢献，子育て支援，スタッフ研修，私立大学，附属機関